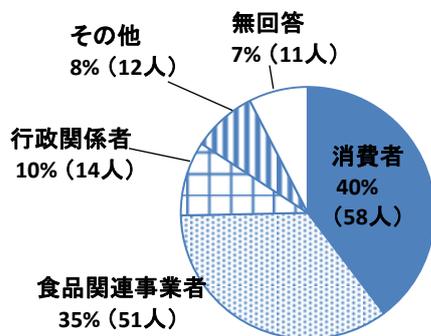


平成28年度「大阪府食の安全安心シンポジウムアンケート」結果

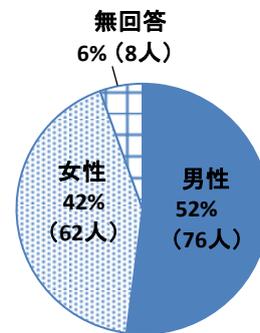
- テーマ : 「輸入食品は危ない」は本当なの？
～食品情報の見極め方～
- 日時 : 平成28年9月27日(火)
14時00分～16時30分
- 参加者 : 171名
- アンケート回答者 : 146名

ご自身について

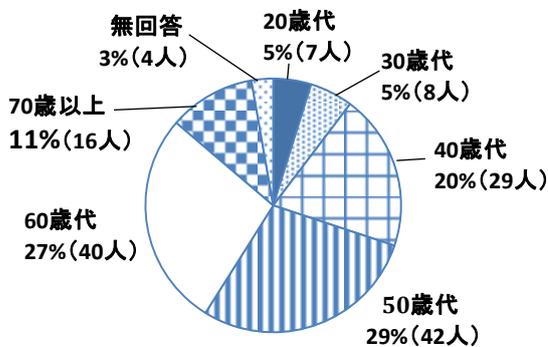
Q1. 区分



Q2. 性別

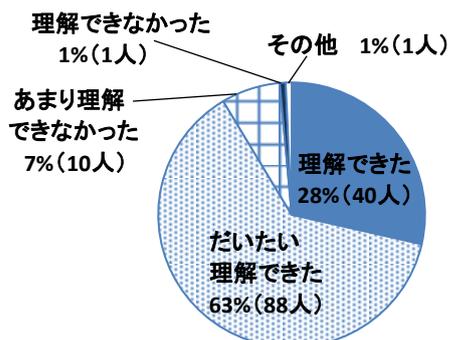


Q3. 年齢

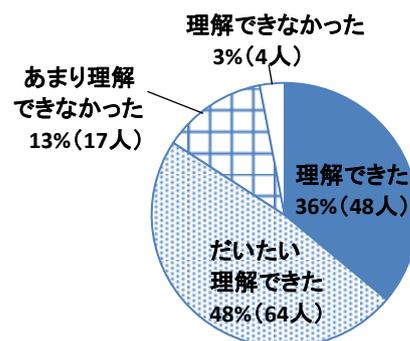


シンポジウムの理解度について

Q4. 基調講演 (無回答除く)

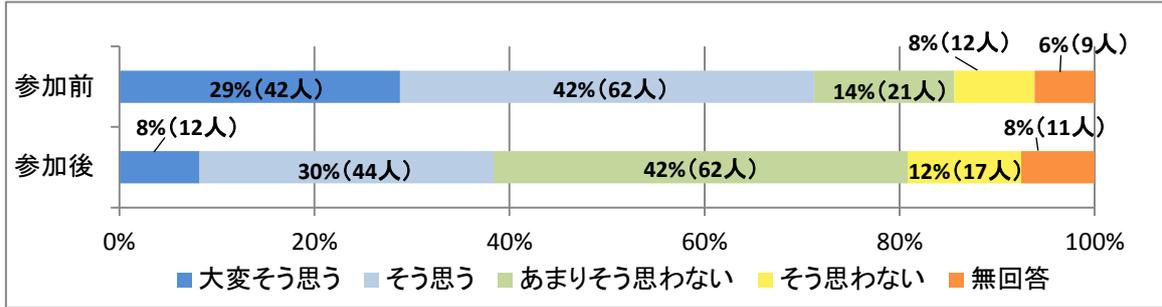


Q5. パネルディスカッション (無回答除く)

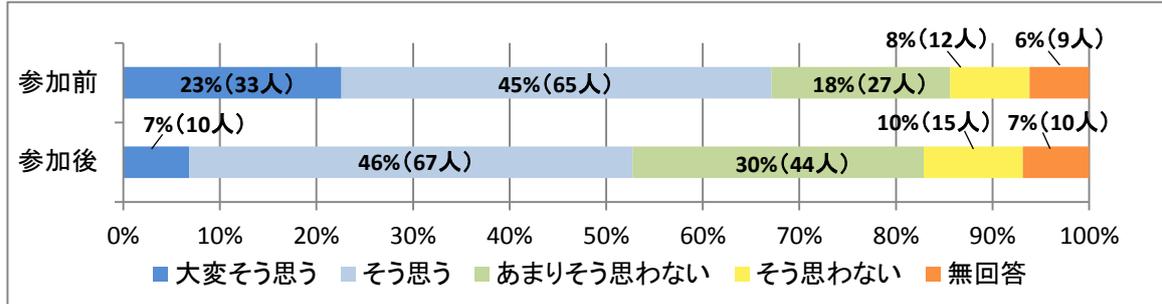


シンポジウムに参加される前と後の感想について

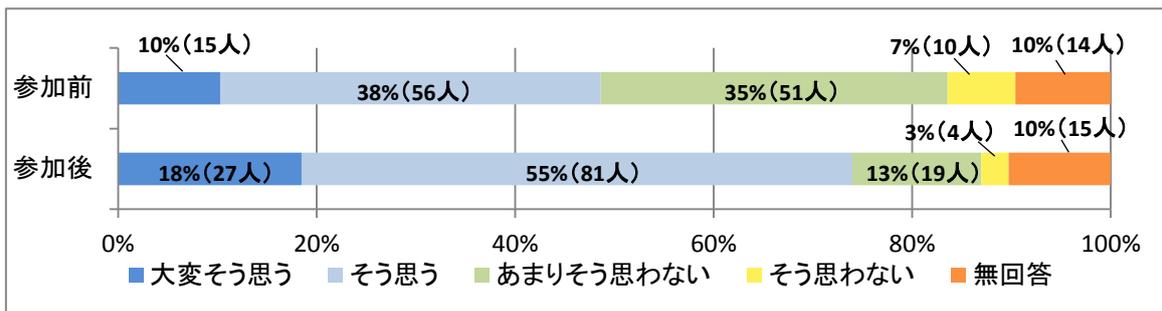
Q 6. 輸入食品の安全性に不安がある



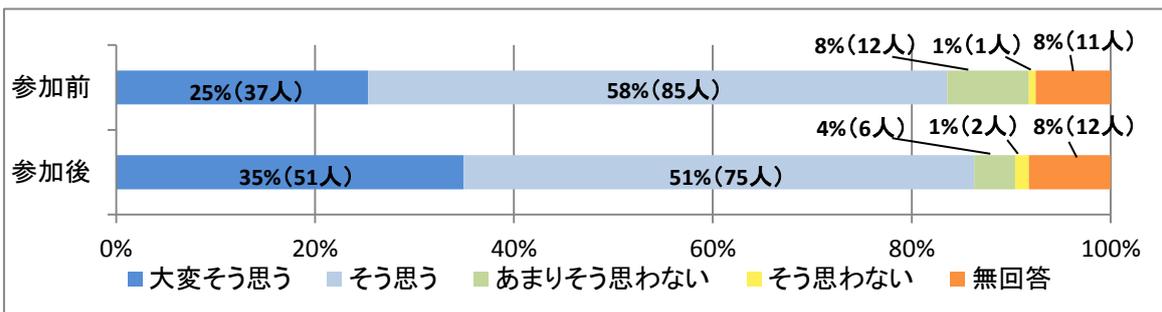
Q 7. 輸入食品より国産品の方が安全である



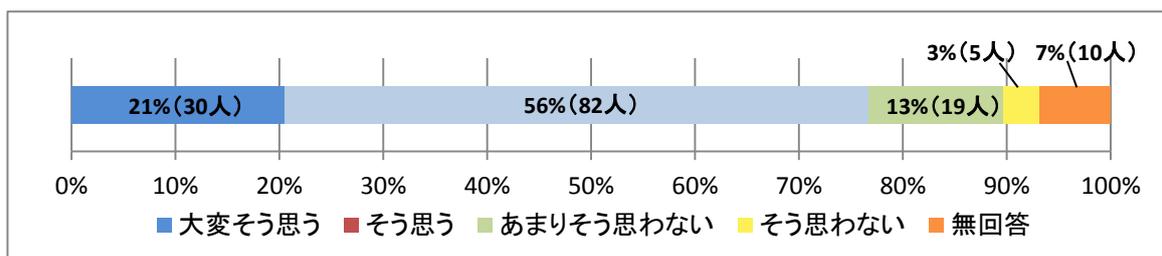
Q 8. 行政の輸入食品の安全確保に関する取組を理解している



Q 9. 普段入手している食品情報は、正確かどうか考える必要がある

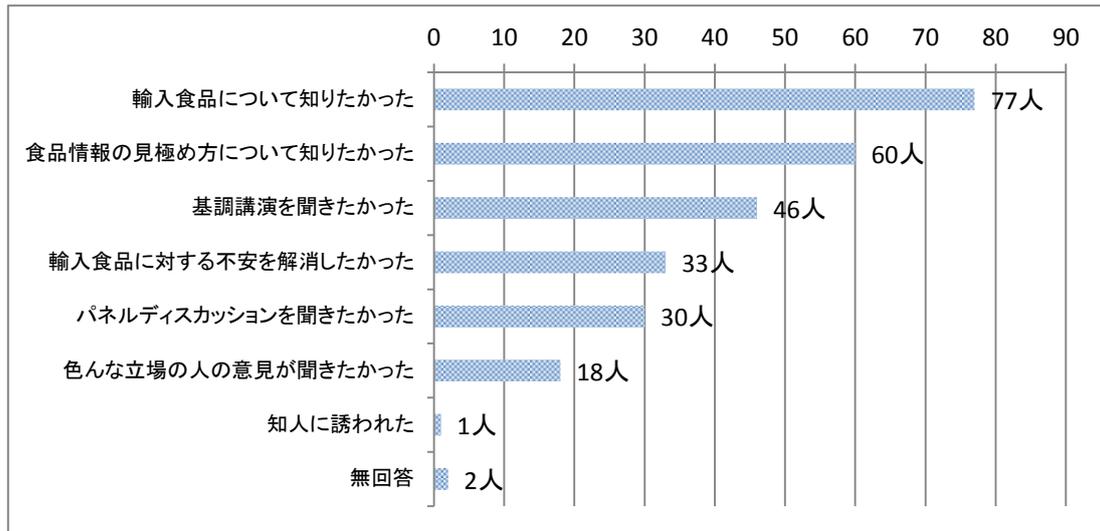


Q 10. シンポジウムに参加して、食品情報の見極め方に対する理解が深まった

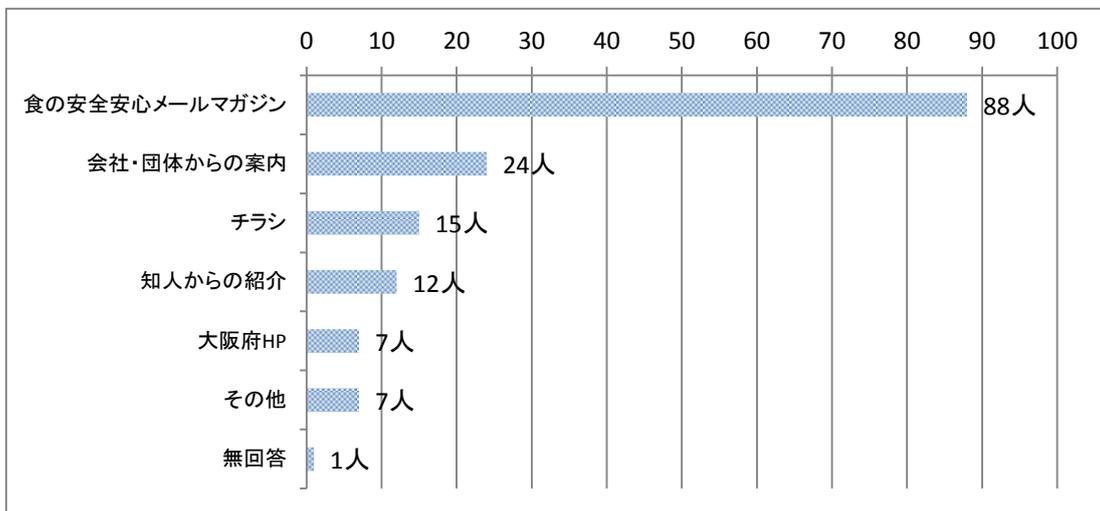


その他

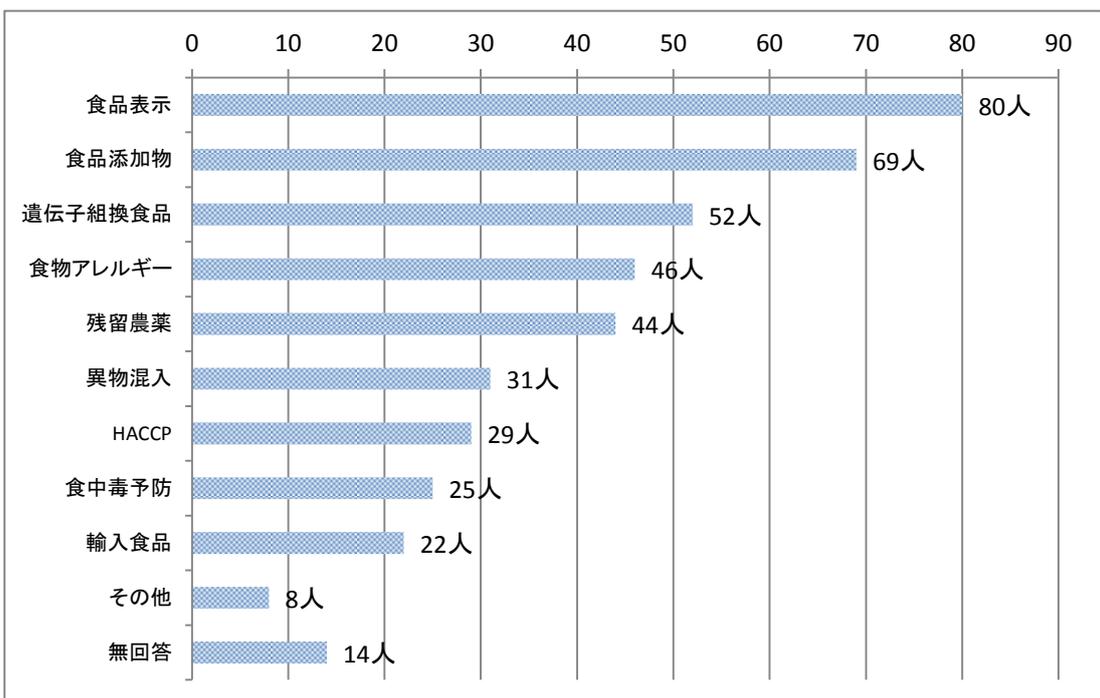
Q 1 1. シンポジウムに参加した理由は何ですか？（複数回答可）



Q 1 2. シンポジウムは何を通じてお知りになりましたか？（複数回答可）



Q 1 3. 今後参加したいシンポジウムのテーマは何ですか？（複数回答可）



Q14. その他、ご意見、ご感想があればご記入ください。（一部抜粋）

【基調講演】

- ・基調講演の内容、すごく勉強になりました。これまでに聞いたことのない講演で、考え方、見方が少し変わりました。
- ・「市民はあらゆる科学情報を獲得するほどヒマではない」という話はとても印象的でした。
- ・日本にも「食のコントロールセンター」が欲しい。

【輸入食品の安全性・検疫所の取組】

- ・検疫所における輸入食品の安全性確保の取組について、勉強になりました。
- ・検疫所の方々のご苦勞が理解できました。
- ・輸入後の検査から輸出先での安全性への充実に力を入れている取り組み方に期待します。
- ・食生活の習慣で国によって基準が変わるのには納得できた。
- ・輸入、国産問わず、自分の口に入れる物にはちゃんと向き合っていくことが大切だと分かりました。
- ・絶対国産！と思っていたけど、海外の工場はきれい！とか、厳しい基準を通過して輸入されていると知って、少しは輸入でもいいかなと思ったのですが、やはり生産者が見えないという点では不安です。色んな情報を得て、かしこい消費者、主婦になります！

【食品情報の見極め方・その他】

- ・自分を正当化するデータだけでなく、反対意見も積極的に探していこうと思いました。
- ・マスコミに踊らされることなく、複数の情報源でチェックすることが大切だと再認識した。
- ・メディアの性質「科学的な記事でのヘタな両論併記に気をつけろ！」は、目からウロコでした。
- ・今回4人のパネリストの方だけでも、立場によって意見が違うなとつくづく思いました。木下先生が最後におっしゃった「信頼」「ほどほど」。そのとおりだと思いました。
- ・安全と安心の違いを実感した。安心も叶うよう、行政にもマスコミにも努力してもらいたい。